

社会教育会館テナントミックス施設整備事業

事業主体	株式会社まちづくり大津
事業内容	<p>昭和9年に建設され、それ以後市民に親しまれ続けてきた歴史的に価値の高い建物である社会教育会館を、その外観や雰囲気を保存しながらも観光や地域住民が交流できる拠点としての活用を図る。</p> <p>具体的には、市が2・3階をホールや会議室を備えた交流施設として整備することに合わせて、本事業では、1階・地下1階において、テナントミックス施設を整備し、飲食店舗を中心とした集客力のあるテナントを誘致する。</p>
事業スケジュール	<p>平成21年度戦略的中心市街地商業等活性化支援事業申請済</p> <p>21年3月～6月 テナント募集</p> <p>21年4月～8月 店舗設計・業者選定等</p> <p>21年9月～22年3月 改修工事</p> <p>22年4月 オープン</p>
事業の効果	<p>当計画地は、計画期間内に160万人の集客力をめざしている琵琶湖湖岸地区と、まちなかを結ぶ結節点である。そのことから、琵琶湖湖岸から観光客等をまちなかに引き込むことが期待できるとともに、まちなかに回遊する際の起点（拠点）となることから、まちなかに関する情報発信を行うことでより一層の回遊性の創出を図る。JR大津駅から当計画地の間には、商店街が立地しており、マップやイベント等のソフト事業により、当事業と商店街の連携を強化し、周辺商店街への誘導を図る。</p> <p>また、当計画地周辺は滋賀銀行やNTT西日本をはじめとした多くのオフィスビルが立地し、オフィスで働く人のための飲食店の需要が高いにも関わらず周辺飲食施設は不足しているため、当事業を実施し、飲食店を誘致することにより、ランチタイムの賑わいととも、夕方から夜にかけて集客を図ることで、オフィスで働く人の帰宅時間帯における消費活動を活発化させ、周辺への波及効果を狙う。</p>
補助金名	戦略的中心市街地商業等活性化支援事業（補助率1/2）
事業費等	総事業費48,000千円（補助申請額20,250千円）
<p>事業のイメージ</p>  <p>改修後イメージパース</p>	

琵琶湖湖畔活用エコツーリズム事業

事業主体	琵琶湖汽船株式会社
事業内容	<p>浜大津アーカスに滋賀県の食、環境、歴史のエコツーリズム拠点を整備し、観光拠点としてリニューアルを行う。</p> <p>具体的には、浜大津アーカスの2階の一部を改修して 滋賀県の環境こだわり農業を全面にアピールした地産地消・土産土法の農産品、及び琵琶湖の湖魚と加工品を中心とした地産地消マーケットやそれらの食材を活用したフードコートを整備する。併せて、現在、様々な市民団体・企業等が独自に行っている個別のエコツーリズム・プログラムを集約・整理し、情報発信及び一括検索・受付システムを構築するものである。</p>
事業スケジュール	平成 21 年度戦略的中心市街地商業等活性化支援事業申請済 21 年 4 月～8 月 店舗設計・業者選定・エコツーリズム組立等 21 年 9 月～22 年 2 月 改修工事・エコツーリズムシステム構築等 22 年 4 月 オープン
事業の効果	<p>現在、雄琴、坂本、三井寺、石山寺をはじめとした本市の主要な観光地を訪れる年間 4 3 0 万人の観光客の多くが、本事業地前の幹線道路を利用し、本市主要観光地間を移動しているが、その多くが中心市街地にとっては、単なる通過交通となっている。また、現在当該事業地に隣接する浜大津公共駐車場及び京阪電鉄京津線を利用し、京都への観光客を利用者とするパーク＆ライド事業を実施しているが、利用客は駐車場を利用するだけであり、中心市街地への回遊には繋がっていない。</p> <p>本事業を実施し、琵琶湖への観光客はもちろん、広域幹線道路である湖岸道路を通過する大津観光の大型バス、京都へのパーク＆ライドの客等に対する情報発信拠点やまちなか観光に誘導する拠点を創り出すことにより、これらの観光客を、中心市街地全体への波及効果を狙う。</p>
補助金名	戦略的中心市街地商業等活性化支援事業（補助率 1/2）
事業費等	総事業費 162,000 千円（補助申請額 60,860 千円）
事業のイメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="470 1523 925 1982"> </div> <div data-bbox="965 1523 1228 2016"> </div> </div> <p style="text-align: center;">改修後事業イメージ</p>

大津駅前商店街（寺町通り）再生事業

事業主体	大津駅前商店街振興組合
事業内容	<p>大津市中心市街地の玄関口であるJR大津駅前の商店街再生により、周辺商店街への波及効果をめざす。</p> <p>具体的には、老朽化したアーケードの撤去を行い、まちなみを一新するためのファサード整備を実施する。併せて平成 22 年度から滋賀県による電柱地中化を含む歩道の拡張整備により、歩行者優先の道づくりが実現し、上記事業との相乗効果により中心市街地全体に大きなインパクトを与える事業である。</p>
事業スケジュール	平成 21 年度戦略的中心市街地中小商業等活性化支援事業 2 次募集申請予定
事業の効果	<p>当事業の実施により J R 大津駅からまちなかに人を誘導することが可能となる。また、琵琶湖岸のアーカスや社会教育会館の諸事業は、それぞれ琵琶湖観光からまちなかへの集客につなげることを狙いとして実施するものであり、まちなか側として魅力あるエリアを作らなければ、現在は集客できる要素が少ないためせっかく集客した観光客等をまちなかに呼び込むことはできない。そのためにも、ファサード整備や魅力ある店舗の導入、平成 22 年度に実施される歩道拡張などにより寺町通りがまちなか商店街の活性化モデルとなることで、まずは寺町が琵琶湖側から人を惹きつけ、アーカスや社会教育会館での事業との相乗効果をつくりだす。そのことにより、J R 大津駅からだけでなく、浜大津から J R 大津駅に向かって回遊性を創出する効果が生まれ、中心市街地内にある商店街にも大きな波及効果をもたらす。</p>
補助金名	戦略的中心市街地中小商業等活性化支援事業（補助率 2/3）
事業費等	総事業費 117, 210 千円（補助申請額 78, 130 千円）
<p>事業のイメージ</p> <div style="text-align: center;">  <p>改修後イメージパース</p> </div>	